



山梨医療安全研究会 会報

山梨県立大学看護学部101 研究室
〒400-0062 甲府市池田1-6-1
FAX 055-253-8139
MAIL office@ymss.jp



第6回KYT(危険予知訓練)研修を開催

7月26日(土)山梨県立大学池田キャンパスにおいて、KYT(危険予知訓練)の研修が行われ117名(看護師・介護士・薬剤師・PT・OT・MEなど)の方が参加されました。研究会としては、KYT研修は今回で3回目となります。

まず始めにKYTの理論をDVDで見た後、それぞれの施設の実践報告がありました。春日居リハビリテーション病院は実際に「KYT4ラウンド法」を小芝居で実演、甲府共立病院は職責者朝会での指さし唱和の実践や活発な5S活動の状況、北杜市立甲陽病院はたった1病棟から始まったKYT活動を看護部全体へ広げた様子など、それぞれの特徴を生かして広めている様子が紹介され、とても参考になりました。



また、写真(またはイラスト)をもとに、「KYT4ラウンド法」のグループワークを行い、戸惑いながらも危険のポイントや行動目標など活発な意見交換を行い、照れながらも指さし呼称を実践しました。

終了後のアンケートでは、「日常の中に潜む危険についてトレーニングの必要性を感じた。」「KYTの効果を実感できた。」「KYTを取り入れると職場が生き生きとしてくるんだと思った。」などのご意見が寄せられました。今回の学びを各施設で、それぞれが根気強く実践していきましょう!

会場が狭かったにもかかわらず、積極的にグループワークを進めていただきありがとうございました。皆様本当にお疲れ様でした。



医療安全の最前線 施設見学報告



9月19日(金)雨のち曇り。昨年に続き医療安全の進んでいる病院を約40名で見学してきました。今回は東京・武蔵野市にある武蔵野赤十字病院(611床)で、赤レンガの落ち着いたエントランスが出迎えてくれました。医療KYTと言えばこの方、杉山良子専従リスクマネージャー(GRM)がいらっしゃる病院です。また、医療メディエーターの活動も活発なところでもあります。

矢野医療安全室長からは、医療安全は全員参加で行うこと、医療の質と安全を高めるためにはトップダウンの仕組み作りとボトムアップの改善の重要性、QCサークル活動や5S活動などについてお話がありました。こんな医師がいてくれたらうちの医療安全も進むのに、と思った参加者も多かったはずですよ。

杉山GRMは、一歩進んだ考え方を持った方で、「転倒転落はアセスメントの見直しはしても分析はしない。エビデンスがなくても必要と思うことはどんどんやるべき。今は看護部からは手を引き主にコメディカルメインで活動している。コストをかけずに今あるものを最大限に活用する。」などの持論がユニークでした。

また、今年実際に起きた麻薬関連の事故後の対応について、師長からお話していただき、当該師長としての戸惑いや当事者への関わり、その後の対策など参考になりました。できれば公表したくないであろう事故について、共有する真摯な姿勢も学びました。今回の見学で、とにかく病院全体でパワフルに楽しく医療安全に取り組む姿勢、医療安全と言えども人を活かしていくという温かくも熱い思いを感じ、とても勇気をいただきました。ありがとうございました。

メーリングリストについて

2006年10月からスタートしたメーリングリストは現在24名で運営しており、2008年9月までに258件の情報交換がされています。安全管理に関わることで各施設で「疑問に思ったこと」や「対策などで情報を得たいこと」など、気軽にメーリングリストで呼びかけ、意見・情報交換を行っています。最近の話題では、「採血用穿刺器具」「医療廃棄物」「トロンボスピッツの真空採血」「輸液ポンプチェックリスト」などについて活発な意見交換がありました。

本来、施設外の情報は得にくいですが、メーリングリストにより他施設の方に簡単に交流することができます。また、外部の研修や各種情報が得られるので、興味のある方は、研究会または戸井(TEL 0553-26-4126内84)までご連絡ください! 尚、研究会ホームページ(<http://www.ymss.jp>)にも入会手続きの詳細が載っています。



お知らせ



2008年11/22(土)~24(月) 東京ビックサイトで開催される「医療の質・安全学会」のシンポジウム(11/23)に当研究会副会長の笠井英美さんがシンポジストとして参加されます。有志が独自に医療安全のための研究会を運営している山梨県の先駆的な活動を紹介します。興味のある方はぜひ参加してほしいかがでしょうか。尚、この模様は次回の会報でご紹介する予定です。

